



平成27年度 事業実施報告書

滋賀県生涯学習推進本部

II 各会場別実績

1 米原会場

- ◆ 出展団体数 49団体（前年比 ▲14）
- ◆ 出展プログラム数 52プログラム（前年比 ▲19プログラム）
- ◆ 来場者数 1,800名（前年比 ▲50名）
（時間別来場者数）
 - 11時台 1,072名
 - 12時台 210名
 - 13時台 366名
 - 14時台 128名
 - 15時台 24名
- ◆ テーマ別参加者数 のべ参加者13,366名
 - 〔環境〕 7プログラム 1,465名（11.0%）
 - 〔文化・歴史〕 9プログラム 1,402名（10.5%）
 - 〔健康・福祉〕 11プログラム 3,748名（28.0%）
 - 〔安全・安心〕 8プログラム 2,900名（21.7%）
 - 〔暮らし〕 13プログラム 3,183名（23.8%）
 - 〔販売〕 4プログラム 668名（5.0%）

2 大津会場

- ◆ 出展団体数 70団体（前年比 ▲2）
- ◆ 出展プログラム数 72プログラム（前年比 ▲12プログラム）
- ◆ 来場者数 1,900名（前年同数）
（時間別来場者数）
 - 11時開始時 1,062名
 - 11時台 191名
 - 12時台 161名
 - 13時台 298名
 - 14時台 150名
 - 15時台 38名
- ◆ テーマ別参加者数 のべ参加者12,023名
 - 〔環境〕 15プログラム 1,803名（15.0%）
 - 〔文化・歴史〕 12プログラム 1,279名（10.6%）
 - 〔健康・福祉〕 10プログラム 1,393名（11.6%）
 - 〔安全・安心〕 16プログラム 4,558名（37.9%）
 - 〔暮らし〕 11プログラム 2,214名（18.4%）
 - 〔販売〕 8プログラム 776名（6.5%）

III テーマ別実績

1 〔環境〕

	米原会場	大津会場	左記のうち、両会場共に出展
体験	4プログラム	10プログラム	2プログラム
展示	3プログラム	5プログラム	3プログラム
計 参加者数計	7プログラム 1,465名	15プログラム 1,803名	

〔環境〕では、滋賀県産の素材を使った工作体験や、琵琶湖やエネルギーに関する学習を通して、環境への取り組みを身近に感じていただくことのできるプログラムが実施されました。



米原会場

米原会場では、7プログラムに参加者全体の約11%の方が体験されました。定員制のプログラムは1プログラムありました。

リサイクル体験「牛乳パックからはがきを作ろう」のブースは、ミキサーを用いて牛乳パックからはがきを作る体験ができ、捨ててしまいがちな物から新たな製品ができることを知り、リサイクルによる資源の活用の大切さを多くの子どもたちが学んでいました。

また、「びわ湖の魚や貝の研究を体験しよう」のブースでは、生きた魚や貝などを間近で観察できるだけでなく、顕微鏡を使って微生物の観察もでき、身近なびわ湖に生息する様々な生き物を興味津々に観察していました。

その他にも、「プラス・サイクル～自転車発電！～」のブースの自転車による発電や、「希望が丘アウトドアスクール“体験は宝”」のブースのどんぐりを用いた工作などで、子どもたちが楽しく学んでいました。様々な視点から環境についての「学び」を提供できました。

大津会場

大津会場では、15のプログラムに参加者全体の約15%の方が体験されました。定員制のプログラムは5プログラムありました。

「竹細工で遊ぼう」や「おたにキッズキャンパス～作ってとばそう！わごむてっぼう～」のブースでは、子どもたちが楽しく体験していました。「-196℃の冷熱実験&地球にやさしい燃料電池

実験」や「エネルギーを感じて家庭のムダをなくそう」のブースでは、エコや省エネについて体験を通して学んでいました。また、「ヨシを使って写真入りヨシ額づくり」や「よし笛工作とよし笛試奏・体験」のブースでは、琵琶湖のヨシを用いた工作や体験ができ、「琵琶湖の環境保全について」、「ヴァーチャルフィッシング びわ湖のお魚釣り」などのブースでは琵琶湖について体験を通じて楽しく学ぶことができました。その他、滋賀県の実験について多くの方に楽しみながら学んでもらうことができました。

2 [文化・歴史]

	米原会場	大津会場	左記のうち、両会場共に出展
体 験	7プログラム	11プログラム	5プログラム
展 示	2プログラム	1プログラム	1プログラム
計	9プログラム	12プログラム	
参加者数計	1,402名	1,279名	

〔文化・歴史〕では、滋賀県に伝わる文化や歴史を学んだり、昔の暮らしの体験をすることのできるプログラム、世界の文化に触れることのできるプログラムが実施されました。



米原会場

米原会場では、9プログラムに参加者全体の約11%の方が体験されました。定員制のプログラムは4プログラムありました。

「滋賀にまつわる戦争の記録」のブースでは、子どもたちへ戦争は繰り返してはならないという思いが伝えられました。「ちびっこ海外協力隊 in 米原～世界の国旗づくりと民族衣装体験～」のブースでは、色々な国の衣装を着てみたり、国旗を作るといった体験を通して、世界への関心を深めていました。

また、「わたから糸づくり、糸から織を体験しよう！～コースターをつくろう～」や「麻の布オリガミで金魚を折ってみよう！」のブースでは子どもたちが糸や布に関する体験を楽しみ、「ミシガンのことを知ろう！クイズもあるよ」のブースでは姉妹友好州であるミシガン州について多くの子どもたちが学んでいました。

大津会場

大津会場では、12のプログラムに参加者全体の約11%の方が体験されました。定員制のプログラムは7プログラムありました。

「考古資料に触れよう！」や「古代アッシリアのくさび型文字を粘土板でつくろう」のブースでは、昔の土器を見たり、昔の文字を彫るなどの体験を通して、古代の文化に対する関心を深めることができました。

また、「つちっこ 願いを込めたタヌキをつくろう」や「世界に一つだけの「うちわ」を作ろう！」などのブースでは自分だけのオリジナル作品を作る体験を楽しんでいました。「世界を体験しよう！ぐるーかるカフェ ～マレーシア編～ ～アフリカ編～」のブースでは、世界の文化に触れる体験を通じて、世界の文化・歴史について親子で学ばれていました。

3 [健康・福祉]

	米原会場	大津会場	左記のうち、両会場共に出展
体験	9プログラム	9プログラム	6プログラム
展示	1プログラム	1プログラム	0プログラム
実演、他	1プログラム	0プログラム	0プログラム
計	11プログラム	10プログラム	
参加者数計	3,748名	1,393名	

〔健康・福祉〕では、食べることやからだのことなど、身近なテーマで健康や福祉を学習していただくことのできるプログラムが実施されました。



米原会場

米原会場では、11プログラムに参加者全体の約28%の方が体験されました。定員制のプログラムは、3プログラムありました。

「正しくきれいに手を洗おう！（食中毒を予防しよう!）」のブースでは、手にブラックライトを当て、手の汚れを観察し、手洗いの重要性について学ぶことができました。また、「ふくしの自動車はここがスゴイ!!」のブースでは、車いすに乗って福祉車両の乗車体験を、「バリアフリー学習～バリアフリー社会を実現するために～」のブースでは視界を制限するゴーグルを身に付けることで目が見えにくい人の立場を体験することで、皆が暮らしやすい社会をつくっていくことの大切さを学ぶことができました。

「出張ふれあい広場『ひつじたちがやってくるよ』」のブースでは、ひつじやうさぎ等に触れることができ、子どもたちがそっと抱き上げるなどして小動物の命を感じていました。「人形劇「ピ

「マン太郎の活躍でホームラン！」のブースでは食べることの大切さについての人形劇が行われ、より身近な健康に関する学びを提供することができました。

大津会場

大津会場では、10のプログラムに参加者全体の約12%の方が体験されました。定員制のプログラムは、3プログラムでした。

例年人気のブースである「バター作り体験」では、身近なバターを自ら作り・食べる体験ができ、「はかるカルシウムゲーム」で身の回りの食品のカルシウム量を調べる体験をすることで、食と健康への関心を深めていました。

「聞こえないことを知って聞こえない人と話してみよう」のブースでは、実際に耳の不自由な方が暮らすために工夫されていることを知り、手話による会話などを体験され、子どもたちは戸惑いながらもよく学んでいました。また、「スポトレ★しが かけっこ10種競技で運動能力UP！」のブースでは、トレーナーの方々と一緒に多くの子どもたちが、実際に体を動かす楽しさを感じていました。

4 [安全・安心]

	米原会場	大津会場	左記のうち、両会場共に出展
体験	5プログラム	11プログラム	3プログラム
展示	3プログラム	5プログラム	3プログラム
計 参加者数計	8プログラム 2,900名	16プログラム 4,558名	

〔安全・安心〕では、交通、防災、防犯への取り組みを見たり体験したりする中で、身の回りの安全・安心がどのように守られているかを学んでいただくプログラムが実施されました。



米原会場

米原会場では、8プログラムに参加者全体の約22%の方が体験されました。

「夏休みお天気広場」のブースでは、ペットボトル内で雲や竜巻の渦をつくる体験で学んでいる子どもたちが多くいました。「プラス・サイクル～自転車シミュレーターでルールとマナーを学ぼう！」のブースでは、子どもにも身近な自転車のシミュレーターに乗って、交通ルール・マナーを

楽しみながら学んでいました。

また、「安全・安心な食肉をお届けする滋賀食肉センター」のブースでは近江牛の安全・安心について学びました。

大津会場

大津会場では、16のプログラムに参加者全体の約38%の方が体験されました。定員制のプログラムは、1プログラムでした。

「機動隊の盾、持てるかな？」や「警察官に変身！ジュニアポリス体験」のブースでは、子どもたちが市民を守っている警察官の盾を持ったり、警察官の制服を着るなどの貴重な体験をしました。

また、「指紋採取に挑戦！鑑識作業体験！」のブースでの自分の指紋を採取する体験や、「きて！みて！さわって！高速道路！（ドライビングシミュレーターで運転体験！）」のブースでの高速道路での自動車の運転体験などの日頃体験できないものに、多くの子どもたちが参加・体験して、学びました。

5 [暮らし]

	米原会場	大津会場	左記のうち、両会場共に出展
体験	8プログラム	6プログラム	3プログラム
展示	3プログラム	3プログラム	3プログラム
実演、他	2プログラム	2プログラム	2プログラム
計	13プログラム	11プログラム	
参加者数計	3,183名	2,214名	

[暮らし]では、身の回りのものを用い、暮らしに役立つ体験や工作体験をすることができるプログラム、また、身近な暮らしの疑問を解決できるようなプログラムが実施されました。



米原会場

米原会場では、13プログラムに参加者全体の約24%の方が体験されました。定員制のプログラムは、4プログラムでした。

「火おこし体験で火の大切さを知ろう！」や「はかってみよう！計量教室」のブースでは、暮らしの基礎となる火おこし体験や計量体験を通じ、親子で熱心に学ばれていました。

「飲み物の糖分をはかってみよう！」のブースでは、コーラなどの身近な飲料の糖分を実際に計測し、多くの糖分を含んでいることを学び、多くの子どもたちが驚いていました。

「高速道路ドライビングシミュレーターでITSドライブ体験」のブースでは、自動車のシミュレーターに乗れる体験が子どもたちに非常に人気でした。

大津会場

大津会場では、11のプログラムに参加者全体の約18%の方が体験されました。定員制のプログラムは、3プログラムでした。

「貯金箱を作ろう！（お金クイズもあるよ）」や「世界でたったひとつのビー玉回転台工作」、「手作りモーターに挑戦!」、「『元気』缶バッジをつくろう!」のブースといった工作体験は、多くの子どもたちの関心を引き付け、工夫しながら熱心に自分で工作されている様子が見受けられました。

また、「さまざまな本を手にとって想像力をひろげよう!」のブースで色々な本に興味を示されている子どもたちが多くおられました。「人権ふれあい啓発『ジンケンダーと学ぼう!』」と「知っていますか?『男女共同参画』って」のブースでは、大事な人権問題についてジンケンダーと一緒に楽しく学んだり、男女の社会参画について真剣に学んでいる様子が見られました。

6 [販 売]

米原会場では4事業所、大津会場では8事業所が出店されました。

〔販売〕では、障害のある方たちが手作りで製造しているパンやお菓子、ジュースの販売だけでなく、陶器製品の販売やヨシ紙の販売・お絵かき体験などを通じて、身近な地域で活躍されている団体の活動を知っていただく機会を提供し支援する機会となっています。

さらには、県有施設内で出店されている店舗にも協力いただき、人気のカレーライスの提供などで、多くのお客様で賑わいました。



出展者の皆様ありがとうございました。

7 【ブースラリー】

昨年度に引き続き、ブースラリーを実施しました。環境、文化・歴史、健康・福祉、安全・安心、暮らしの5つゾーンを色分けし、各ブースにおいて学習した小学生以下の子どもたちにブースの色のシールを配っていただき、3色以上のシールを集めた子どもたちを対象に協賛企業からいただいた景品が当たる抽選を行いました。

各ブースで意欲的に学び、シールを集めた子どもたちが数多く抽選会場に集まりました。協賛事業所様に御協力いただき景品は種類も多く、子どもたちは何が出るのかワクワクした面持ちで並んでいました。はずれなしで景品が当たった子どもたちは、皆笑顔で歓声をあげていました。



協賛いただきました事業所の皆様、ありがとうございました。